

関西二期会公演 ～丹波の森オペラスペシャル～

ア・ラ オペラ『メリー・ウイダー』



とき **'97年10月8日(水)** 《午後7時開演》

ところ **たんば田園交響ホール**

〈第一部〉世界の名曲を集めて
 〈第二部〉ア・ラオペラ『メリー・ウイダー』ハイライト

◆入場料 一般 4,000円 学生 1,000円 《全席自由》 ◆主催 篠山町 ◆制作 関西二期会

〈プレイガイド〉

【篠山町内】	【氷上郡内】	【丹南町内】	【三田市内】
小山書店 ☎52-0019	柏原観光案内所 ☎73-0303	JA丹波旅行センター ☎94-3090	三田サティ3Fサービスコーナー ☎64-2121
森本書房 ☎52-0125	丹波の森公苑 ☎72-2128	リブロ ☎94-0188	【西紀町内】 西紀町中央公民館 ☎93-0334
木下楽器 ☎52-0321	春日町文化ホール ☎74-1050	NEWS丹南総合サービスセンター ☎94-3700	【今田町内】 今田町中央公民館 ☎97-2255
サワヤマ楽器 ☎52-2019	ライフピアいちじま ☎85-3030		
みずほトラベル ☎52-5677			

【あらすじ】

概説

アン・デア・ウィーン劇場の支配人の注文により作曲されたが、当初ホイベルガーに委嘱されていたものを、最初の数曲の出来栄に失望してレハールに切り替えられたものといわれる。スッペやヨハン・シュトラウスに代表されるウィナー・オペレッタの「黄金時代」に対して「白銀時代」の夜明けを告げる作品となった。初演からヒットしたが、世界各地で上演されて好評を得た。なお「メリー・ウィドー」はこの曲の英語訳である。

◆第一幕◆

パリにあるポンテヴェドロ公国の公使館。公使ツェータ男爵は国王の誕生日を祝う祝賀会を開いている。フランスを代表してカスカーダ伯爵が祝辞を述べると、ツェータがあいさつするが、顔色は冴えない。というのもパリ在住の公国の富裕な若い未亡人ハンナの再婚問題を抱えているからである。彼女の財産は公国の財政を左右するほど巨額なもので、彼女がフランス人と結婚して財産が国外に流失するのを、何としても阻止しなければならない。また、ツェータの美貌の妻ヴァランシェンヌには、フランスの伊達男（だておとこ）カミーユがしきりに言い寄っていて、彼女はカミーユによるめきかけている（「私は貞淑な人妻」）。カミーユは彼女の扇子に「われ君を愛す」と書いたまま置き忘れてしまい、それをツェータが見つかる。

ハンナが到着して、明日自宅で開くポンテヴェドロ風のパーティに人々を招待する。ツェータは書記のニュエグシに書記官のダニロ伯爵を呼びにやる。ツェータは昔ハンナと親しかったダニロを彼女と結婚させようと思っているが、プレイボーイのダニロは高級クラブのマキシムに入り浸りたりの毎日で、今日は仕方なしにパーティに出席する。マキシムから戻ったダニロはすでに酩酊状態で登場する（「おお祖国よ」）と、マキシムをたたえて長椅子で寝てしまう。ハンナがダニロを見つけて再会を喜ぶ。二人は今なお内心愛しあっているが、財産目当てと思われるのを嫌ったダニロの反発から、意地のつっぱり合いになっている。そこでツェータはダニロに対して、彼女との結婚を任務として言い渡す。ダニロは断るが、ハンナの再婚を防ぐことだけは誓う。そこに男たちに囲まれてハンナが現れ、ダンスの相手としてダニロを選ぶ。しかしダニロはハンナと踊る権利を1万フランで売ろうとするので、怒ったハンナは強引にダニロの手を取って甘美なワルツを踊る。

◆第二幕◆

翌夕のハンナ邸の庭園。故国の民族衣装を着けた人々の踊りに続いて、ハンナがお客をもてなす「ヴィリアの歌」を歌い、ヴィリアに託してダニロへの愛を歌う。ツェータはこのパーティにダニロが来ていないので心配していると、当のダニエルが現れる。ハンナはダニロの心を開かせようとするが、自尊心が邪魔（じゃま）をして煮え切らないダニロとの間で相変わらずの意地の張り合いになる。ツェータは昨夜の扇子の持ち主の調査をダニロに命ずるが、公使館員夫人の全員がパリの伊達男に関係があることが分かる。妻の行状をまだ知らない男たちは、女の扱い方は難しいものだと言いつつ愉快に歌う（「女の研究はやさしくないよ」）。

皆が別室に移ると、ヴァランシェンヌと彼女を追い回してカミーユが登場する。ヴァランシェンヌは扇子に「私は貞淑な人妻」と書いて彼に渡すが、カミーユは強引に彼女を庭のあずまやへと誘う。それを見ていたニュエグシの所にツェータが現われ、あずまやの鍵穴から中をのぞくと、妻がいるのに激怒して扉を開けさせる。だが出て来たのはカミーユと、ニュエグシの手引きでヴァランシェンヌと素早く入れ替わったハンナなので驚く。ハンナはカミーユを婚約者だと言うので、ツェータはまたもびっくり。ダニロもショックを受けて、憂き晴らしにマキシムへ向かう。ハンナはダニロの本心確かめることができて喜ぶ。

◆第三幕◆

翌日のハンナ邸。ダニロの心を引きつけるために、室内をパリのマキシムそっくりに飾りつけ、ヴァランシェンヌを先頭にマキシムの踊り子たちが呼ばれてフレンチ・カンカンを踊り歌う（グリゼットの歌「私たちはパリのグリゼット」）。そこに、マキシムへ行ったが踊り子たちがいなかった、と言ってダニロが入ってくる。一方、ツェータはちょうど本国から、グヴァリ夫人（ハンナ）の財産が確保されなければ国家は破産する、との電報を受け取って真っ青になる。そしてダニロを呼んで、カミーユを彼女と結婚させないでダニロが彼女と結婚するよう命じる。これも祖国のため、とハンナとの結婚を決意したダニロはハンナに、カミーユとの結婚を思い止まるよう説得する。元々ダニロと結婚するつもりでいたハンナは直ちに了解し、昨夜のあずまやでの真相を語る。二人は歓喜にあふれて美しいワルツを歌いながら踊る（「とざした唇に」）。

ダニロはツェータに、ハンナとカミーユとの結婚は中止になったと報告するので、ツェータは喜ぶ反面、あずまやに落ちていた扇子から妻ヴァランシェンヌの浮気を知って、妻に離婚を宣言し、祖国のために自分がハンナに結婚を申し込む。ところが遺言によって、ハンナは結婚すれば全財産を失うことになると言うので、ツェータは求婚をあきらめる。それを聞いたダニロは、ハンナが無一文になるのを喜んで正式に彼女に結婚を申し込む。するとハンナは、結婚したら全財産は夫のものになると言う。ツェータもヴァランシェンヌに言われて扇子をよく見れば「貞淑な妻」と書かれてある。すべて丸く納まって陽気な合唱の中に幕は下りる。

《プログラム》

～第一部～ 世界の名曲を集めて

- ①禁じられた歌 (S・ガスタルドン) 歌：井上ひろふみ
- ②海の詩 (P・チマール)
- ③もしあなたが帰ってこないなら (F・トステイ) 歌：村井 幹子
- ④ああ、私のお父様 (G・ブッチーニ)
- ⑤ウィーンわが夢の街 (R・ズーチンスキー) 歌：川下 登
- ⑥ウィーンによるしく (E・カールマン)
- ⑦ウィーン気質 (J・シュトラウス) 歌：足立さつき
- ⑧愛は地上の天国 (F・レハール) ピアノ伴奏：長谷川美穂子

～第二部～ F・レハール 作曲/野上彰 訳詞

ア・ラ オペラ『メリー・ウィドー』～ハイライト～

- ①「イントロダクション」
- ②「私は貞淑な人妻よ」(ヴァランシェンヌ・カミーユ)
- ③「ハンナ登場」(ハンナ・男声合唱)
- ④「ダニロ登場」(ダニロ)
- ⑤「ヴィリアの歌」(ハンナ・合唱)
- ⑥「間抜けな兵隊さん」(ハンナ・ダニロ)
- ⑦「2重唱とロマンス」(ヴァランシェンヌ・カミーユ)
- ⑧「ワルツ」(ハンナ・ダニロ・合唱)

◆出演者◆

- ・ハンナ・グラヴァリー：足立さつき
- ・ダニロ・ダニロヴィッチ伯爵：川下 登
- ・カミーユ・ド・ロジョン：井上ひろふみ
- ・ヴァランシェンヌ：村井 幹子
- ・混声合唱：地元有志
- ・指揮者：岡田 司
- ・ピアノ伴奏：長谷川美穂子
- ・ナレーター：大槻 温子

【出演者】

ハンナ・グラヴァリー

ダニロ・ダニロヴィッチ伯爵

カミーユ・ド・ロジョン

ヴァランシェンヌ



指揮者：岡田 司



足立 さつき



川下 登



井上 ひろふみ



村井 幹子